

全国大会受賞報告会 (諫早農業高校・長崎工業高校)

長崎県の高校生の皆さんの活躍が続いています。この度、諫早農業高校と長崎工業高校の生徒の皆さんが全国大会で輝かしい賞を受賞されました。

受賞された生徒の皆さんと関係者の皆様が、12月20日(金)に教育長を訪問し、受賞の報告を行いました。試食あり、デモンストレーションありで、笑顔に包まれた和やかな報告会となりました。



第70回日本学校農業クラブ全国大会 最優秀賞及び文部科学大臣賞

諫早農業高等学校食品科学部 代表 濱崎 莉未さん、峰 ちはるさん (3年)



<概要>

長崎県は温州みかんの出荷量が全国5位です。一方で、その規格外品は全生産量の2割に上り、これらの有効活用が課題でしたが、同校の研究チームは試行錯誤の結果「規格外温州みかん」と諫早の「おこし」を組み合わせ「みかんおこし」の商品化に成功しました。

さらに、みかんをジュースや缶詰などへ加工する際に生じる果皮やじょうのう(薄皮)といった廃棄物を椎茸栽培の菌床に用いることで椎茸の栽培にも成功し、この栽培技術での特許を取得しました。

これらの研究が高い評価を受け、第70回日本学校農業クラブ全国大会プロジェクト発表にて、最優秀賞及び文部科学大臣賞を受賞しました。

報告会当日に特許の査定通知が届いたとのことで、代表の濱崎さんは「今回の研究は地元の方々はもちろんですが、企業の皆さんや長崎県県民振興局、諫早市役所の方々の協力のおかげでここまで研究することができました。また、日頃から私たちを支えてくださる家族や先生方のおかげでもあります。ありがとうございました。」と語ってくれました。



高校生ものづくりコンテスト全国大会 電子回路組立部門 準優勝

長崎工業高等学校 平村 ^{けいと} 恵人 さん (3年)

<概要>

全国大会は11月に開催され、電子回路組立部門は兵庫県の尼崎工業高校を会場として実施されました。平村さんは、**県大会、九州大会で優勝**し、九州ブロック代表として全国大会に出場し、電子基板にモーターやセンサーなどを「はんだ付け」して課題システムを製作し、それを制御するプログラムを作成しました。この大会には、全国9ブロック及び開催地枠の代表10名が出場し、**準優勝の成績**を収めました。

報告会で、平村さんは「競技内容は、『入力回路を設計して製作』と『プログラミング課題』の大きく2つあります。回路製作は全体の中で3番目という成績でしたが、『プログラミング課題』では、8つの課題全てを終わらせることができました。回路製作の結果で差がつき、2位という結果でした。悔しい結果ではありましたが、この大会で身に付けた技術を生かして、これから先、日本一、世界一が取れるように頑張っていきます。これまで、ご支援ご協力いただき、ありがとうございました。」と力強く語ってくれました。



教育長あいさつ (概要)

諫早農業高校の皆さんの取組は、みかん農家の方々が困っていることや、地域の課題を、若い力で解決・克服することにつながりました。みかんを使ったお菓子作りだけでなく、廃棄物を活用して椎茸栽培にもつなげたことは、環境保全の取組でもあり、特許を取るまでの実践に結び付けた成果が大変素晴らしいと感じます。

また、長崎工業高校の平村さんは、非常にレベルの高い大会での見事な成績ですが、悔しい思いもしていると思います。その悔しさを忘れずに、今後の日本一、世界一につなげてほしいと願っています。ものづくりの基盤は、技術も知識も必要ですが、それをどう応用するかが今後求められます。課題を見つけ、イノベーションしていく力を伸ばさせていただきたいと思います。

諫早農業高校、長崎工業高校の皆さん、この度は本当におめでとうございます。



令和元年12月20日
長崎県教育委員会
教育長 池松 誠二